皆さんからのご質問に対する

執行部からの回答

～第4回議会報告会～

平成２５年１１月開催

第4回議会報告会の概要は、2月1日号の議会だよりに掲載しました。
今回は各会場で出された執行部に対する意見・要望などについて抜粋し、報告します。
なお、紙面の都合上掲載できなかった回答については八女市議会ホームページでご覧になることができます。

問 防犯の面から街路灯が設置され、3分の1の補助もあるが、民家のないところなどは高くつくし、維持費（電気料）だけでも町内で5万円程かかっており、市で設置費用を見てもらえないか。

答 民家の無いところに市が防犯灯を設置するのは難しいと考えます。見守り活動などを積極的にお願いします。警察署にもパトロールを要請します。

問 医療費が増加しないため、健診内容ももう少し詳しい内容が必要ではないか、また、病気にならないための予防策についても力を入れていただきたい。

答 特定健診の検査内容については、市で単独に検査項目を増やして実施しているところです。

問 子育て支援センターの遊び場は一般開放されるのか。

答 子育て支援総合施設が6月1日にオープンします。この施設は、保育所と子育て支援センターを併設したものです。この園庭に遊具等を備えていますので、園庭開放時や日曜日などに利用できます。

問 区の活動に対する資金が足りないが、育成事業は継続している。運営資金は、市から6万円・社会福祉協議会から1万8千円の助成金を頂いているが、育成市民の会の運営資金が底をついているから、活動費を減額する方向で考えていると聞いた。減らさないで欲しい。

答 各校区・地区青少年健全育成会等の活動費として八女市青少年育成市民の会から年7万8千円を助成しています。平成24年当時、市民の会の財政運営が非常に厳しくなったことから、平成25年度から校区・地区活動費を減額する方向で役員会において協議をしていましたが、平成25年度から市補助金が年額10万円増額されたことにより、校区・地区活動費は従前どおりの7万8千円を助成しています。今後も市補助金が現行額を維持されるのであれば、当分の間は減額の予定はありません。

問 道路愛護についてであるが、少子高齢化、人口減で70歳、80歳の高齢者が、草刈り機を使用し、半日程やられても終わらない状況である。平たん地においては、ゴミ拾いだけとか話を聞くが、このような格差についてどう思われているか。

答 道路愛護作業については市道・農道の延長が相当存在する中山間地では難しい局面を迎えています。特に八女東部は、過疎高齢化が進んだことに伴い、労力負担になっているところです。地域は地域住民で守っていこうという継続的な取り組みがなされています。管理する立場として感謝しております。高齢化がさらに進み実施困難な地域が増加し、草刈り等も比例して増加していくことが予想されることから、作業が膨大なところは市による直営での作業、外部委託等による対応も考えなくてはならないと思っています。また、地域の皆さまのご協力も必要不可欠であると考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

問 イノシシ問題、市の補助の在り方を考えてほしい（柵だけではなく捕獲するほうにも）

答 現在八女市では、有害鳥獣の農林作物への被害防止対策と捕獲奨励のため、市長が有害鳥獣の捕獲員として委嘱した者に対して、市独自での助成を行っています。（いのしし・シカ1頭当たり1万2千円、サル5万円、アナグマ5千円、カラス1500円、その他鳥類1000円、狩猟期間中は半額）また平成25年度から3年間は、国の補助事業により市単独の補助金を合わせて捕獲奨励補助も取り組んでおります。

問 災害復旧工事に関し、工事が始まる前には、地元に対し説明会や情報を流してほしい。

答 九州北部豪雨災害に係る災害復旧工事施工の際は、関係者への説明を行っているところですが、今後も、丁寧な説明等に努めていきます。